

第17課 近所付き合い（その1）

1. この課のねらい

第17課～第19課では、隣近所の人々との接触の中で起こるいくつかの場面と、そこで行われる言語行動を取り上げる。第17課では、次のようなことを学習する。

- (1) ごみの出し方についての質問ができ、その答えが理解できること。
- (2) 町内会への入会について、その必要があるかどうか、また、その手続などについて質問し、その答えが理解できること。
- (3) 回覧板の回覧の仕方などについて質問できること。
- (4) 「お知らせ」や「通知」に使われている言葉の意味について質問できること。（ここでは「断水」の通知を題材とする。）

2. 学習項目とその扱い方

〔会話Ⅰ〕

(1) 学習項目表

区 分	使 用	理 解
重要項目	○あとう、ごみの出し方を 教えて いただきたいんですが。(3)	○ええと、燃えるごみは 月・水・ 金、燃えないごみは 火曜日に 出してください。(4)

(2) 準備

例えば、粗大ごみの捨て方などの方法について質問し、説明を受けるという場面を考えて、応用会話のテープを作っておく。

(3) 導入

「ごみは何曜日に出しますか」「どこに出しますか」「何時までに出さなければならないですか」「燃えないごみには、どんなものがありますか」などと質問する。以上の質問を通して、予習の状態を判断する。

(4) 練習

- ①予習が十分であれば、会話の流れに沿ってロールプレーを行う。
- ②予習が十分でなければ、会話本文のテープを聞き、繰り返させたり、内容確認の質問をしたりする。定着したらロールプレーを行う。

③用意した応用会話のテープを聞かせ、同じような設定でロールプレーを行ってもよい。

〔会話一2〕

(1) 学習項目表

区 分	使 用	理 解
最重要項目	○あのう、町内会のことについて、 ちょっと お聞きしたいんですが。 (3) ○あのう、わたしたちも 入らなければ いけないんでしょうか。(5)	○そのほうが いいと 思います。 (6)
重 要 項 目	○じゃあ、会費は どうすればいい んでしょうか。(7)	

(2) 準備

特になし。

(3) 導入

「町内会はありますか」「町内会には入っていますか」「会費はいくらですか、いつ払いますか」などと質問し、会話本文に使われている語彙が理解できているかどうか確認する。

(4) 練習

①予習が不十分なようであれば、会話本文のテープを聞き、反復させたり、内容確認をする。

②〔1. 会話練習〕を行う。〔1. 会話練習〕の形は、会話本文よりも短い形なので、もし余裕がなければ、会話本文のロールプレーは省略して、この練習だけを行ってもよい。「～のことなんですが」という話題提示の形は、重要なのでしっかり定着させたい。

③〔3. 表現練習〕の扱いについて。(この練習は、〔会話一3〕の後でもよいが、ここで説明しておく。)

まず、bを初めに練習してもよい。その際、「お～する」のときは「私が(先生に)～」、「お～なる」のときは「先生が～」を前に付けて、人間関係をはっきりさせた形で行う。次に同じ要領でcを行う。

このように b、c を練習した後で、「先生の荷物を持つ」などと a の形を作るためのキューを出して、a の変形練習を行う。

〔会話－3〕

(1) 学習項目表

区 分	使 用	理 解
最重要項目	○あのう、これ、どうすればいいんでしょうか。(4)	○あ、お読みになったら(指さして)ここに はんこを 押して、お隣の鈴木さんに 回してください。(5)

(2) 準備

回覧板あるいはそのコピーを用意する。

(3) 導入

回覧板を見せ、その名称を確認し、「どんなことが書いてありますか」「読んだらどうしますか」「受けとったことはありますか」などと質問する。

(4) 練習

①会話本文のテープを聞いて繰り返させ、内容の確認をする。

②実際に用意した回覧板を使いながら、ロールプレーを行う。

③「お～なる」は林さんの発言ではないので、理解項目に入れたが、学習させておきたい項目である。練習方法は〔会話－2〕の(4)練習③を参照のこと。

④この会話のやりとりに倣って、次のような練習も考えられる。

練習例：例に従って下線の部分を入れかえて練習する。

本、読む 元に戻す→A：この本、読んだらどうすればいいでしょう。

B：あ、お読みになったら、元に戻してください。

A：はい：分かりました。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 本、読む、私に返す | 2. 書類、書く、ここに出す |
| 3. 新聞、読む、元に戻す | 4. 切符、買う、こちらに来る |

〔会話－４〕

(1) 学習項目表

区 分	使 用	理 解
最重要項目	○あのお、断水っていうのは どういう意味ですか。(4) ○使っては いけないっていうことですか。(4)	○あ、いえ、水が 出ないっていうことです。(5)

(2) 準備

アパート、町内会、あるいは電気、水道関係の「お知らせ」などを用意する。

(3) 導入

「断水っていうのはどういう意味ですか」と質問し、予習の状態を見る。

(4) 練習

①会話本文のテープを聞いて繰り返させ、内容の確認をする。(ほとんどの形は既習で、語彙以外の部分に新しいものはない。)

②その途中で〔2. 表現練習〕を行う。〔2. 表現練習〕は、まず正確に置きかえができるようにする。その後、用意した「お知らせ」などを見せ、分からない点について説明を求めさせ、それに対して教授者が答えを与える。もし可能なら学習者同士で応答練習をさせる。

3. 文型・文法に関する参考事項

「なければならない」と「なければいけない」

「なければならない」は、書きことば的で、話し手の意志、希望などにかかわりなく、そうすることが必然的であることを表す。他の方法をとりたいくても、他には方法がないときに使うのが適切である。

(1) 急いでいたのだが、朝六時まで汽車がないので、あと四時間待たなければならなかった。

(2) 熱が高いので、うちで寝ていなければならない。

「なければいけない」は話しことば的で、そういう行動をすべきだ、義務として守るべきだ、という意を表すときに使われる。その要請に従わない場合には、好ましくない結果が予想されることがあるので、命令の意味を持つ場合がある。

(1) まだ、そんなに良くなったわけじゃないんだから、寝てなければいけないよ。

(2) ぼくが帰るまで、待っていなければいけなかったんだ。